

# 公共交通ニューディール政策事業～生活交通のベストミックス～

## 概要

山間地域では高齢化率50%を超える揖斐川町にとって、住民の移動手段として重要な役割を担うコミュニティバスの確保・維持が課題である。

そこで、住民のニーズを把握するとともに持続可能なサービスへの抜本的な改革を図るため、複数の運行形態の実証実験を行い、それらをミックスした運行形態の実現可能性を検証した。

## 岐阜県揖斐川町

### 【実証実験バス運行状況】



【住民との意見交換】



【実証実験案内チラシ】



## 事業の内容

### 事業の内容

- 住民(全世帯)アンケートやバス利用者ヒアリング等による住民意向の把握
- 運行方法が異なる2種類の実証実験の実施(電話予約型・定時定路線【福祉バス】型)
- 実証実験バス利用者へのヒアリングや住民ワークショップによる効果・影響の検証
- 町全体の公共交通ビジョン及び具体的な路線再編の検討

### 総事業費

10.1百万円

### ポイント

乗降調査4日分・アンケート2種類・ヒアリング4種類

- 住民アンケートにおいて、直近数年間のコミュニティバスの利用状況や町負担状況等に関するデータを提供し、現状の公共交通に対する**コスト意識・存続意識の醸成**
- 複数の地域を選定し、**地域の特色に応じた運行形態**による実証実験の実施・検証

## 事業の成果

- 各種アンケートによる、住民の外出行動・バスの改善要望・利用意向の把握
- 利用者ヒアリングによる、路線別・便別の詳細な利用状況(目的、バス停間OD)の把握
- デマンド型交通の試験導入により、予約のある区間・便だけを効率的に運行できるメリットの確認とともに、予約に関する利用者の負担・抵抗もそれほど大きくないことを実感
- 新規で乗り入れた集落における、**新たな需要の発掘と利用者の満足度の向上**が確認でき、同時に運行経費を**現在比約40%削減**という効率的な輸送が実現可能であることを実証できた。
- 運行形態の組み合わせによる**住民参加型ワンオフバスネットワーク**の素案を構築